

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	観光課長 中澤 準	
市民-13	観光振興支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

鎌倉ビーチフェスタ事業、俳句&ハイク事業、主要観光行事安全対策事業(鎌倉まつり及び鎌倉花火大会開催)に係る負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)		
01	鎌倉ビーチフェスタ事業	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	参加者数(人)	23,000 / 33,000 1,100 / 1,100	33,000 1,100	69.7%	
02	俳句&ハイク事業	俳句&ハイク事業負担金	投句数(句)	4,176 / 13,000 486 / 486	13,000 486	32.1%	
03	主要観光行事安全対策事業	主要観光行事安全対策負担金(花火大会・鎌倉まつり)	-	- / - 19,745 / 19,746	- 24,170	-	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	21,331 / 21,332	25,756		
			事業費の合計(千円)	21,331 / 21,332	25,756		
		人件費(千円)		3,933	4,269		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0	4.3	0	0.5	0.5	0.5
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉ビーチフェスタ事業	海の魅力、楽しさを多くの人に知ってもらうことを目的としていることから、参加者数を指標としている。令和6年度は令和5年度よりも増加したが、減少傾向にある。	協議会において、各団体と連携しながら、鎌倉の海の素晴らしさを再認識し、鎌倉の新たな魅力を発信していくことにより、観光振興に繋がるものである。	費用対効果を見つ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらずよう検討する必要がある。伝統ある事業であるが、参加者数の向上のため、イベント内容の見直しも含めて検討していく必要がある。
02	俳句&ハイク事業	文化都市鎌倉の通年イベントとして、文化、観光振興を図ることを目的としており、投句数を指標としている。投句数が年々減少しており、市内投句者も少ないため、周知不足が考えられる。	俳句を通して鎌倉の文化・観光振興及び地域活性化を図るものである。	費用対効果を見つ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらずよう検討する必要がある。投句数が市内、市外ともに大幅に減少しており、周知を図る他、投句方法についても検討が必要である。
03	主要観光行事安全対策事業	指標の設定なしイベントの安全対策への市の負担であることから、指標の設定が難しいため。	鎌倉まつり、鎌倉花火大会の安全対策費として市が取り組むべきものである。	安全対策をしっかりと組みつつ、経費削減に努める必要がある。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働		協働実施済の場合のパートナー	鎌倉花火大会実行委員会、俳句&ハイク実行委員会、鎌倉ビーチフェスタ実行委員会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
各協議会等の事業内容について、観光振興に大きな効果をもたらすよう働きかけていくとともに、経費の削減に努めていく。協働事業の実施に当たっては、実施目的を踏まえた上で、実施主体とともに実施方法の工夫を行う。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0	85.0		
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%	95.0%		

指標(単位)	鎌倉ビーチフェスタ参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
海の魅力、楽しさを多くの人に知ってもらうことを目的としていることから、参加者数を指標とした。	目標値	—	—	33,000	33,000	33,000	33,000	
	実績値	—	—	—	22,000	23,000		
	達成率	—	—	—	66.7%	69.7%		

指標(単位)	俳句&ハイク投句数						単位	句
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
文化都市鎌倉の通年イベントとして、文化、観光振興を図ることを目的としており、投句数を指標とした。	目標値	—	—	13,000	13,000	13,000	13,000	
	実績値	8,679	11,246	9,071	6,375	4,176		
	達成率	—	—	69.8%	49.0%	32.1%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(上段:令和5年・下段:令和4年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	12,284	19,608	8,911	853	4,709	54,291	15,726	19,510
	11,958	17,002	7,953	750	4,210	42,345	15,082	17,360

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
----------------------	---